

1. インターバンク市場

10/13~16のインターバンク市場は、新日銀ネットが13日に全面稼働したことで若干の様子見姿勢も見られたが、15日の年金定時払いや240兆円前後の日銀当座預金残高を背景に、週を通して落ち着いた展開が続いた。13日は新日銀ネット全面稼働日となり、万が一の事態に備えて取引を手控える先が見られたため、朝方の無担O/Nはビッド数がやや減少し、提示レートも低目での立ち上がりとなった。しかし、大手行から0.075%のビッドが入るとレート水準は急速に回復し、3日の加重平均レートは0.076%と平時と変わらない結果となった。15日は積み最終日であったが、残り所要積立額が0になっていたことに加え、年金定時払いが行われたため、落ち着いた出合いが続いていた。16日は積み初日かつ週末となったことで、1,000億円を越えるロットでは0.07%台後半での出合いも見られた。ターム物は、証券業態からの調達が見られた程度であった。固定金利方式の共通担保オペは、15日に3M・8,000億円でオフアールされ、応札額は1,980億円(期落ち分960億円)と札割れの結果になった。

10/19~23のインターバンク市場は、財政等要因として20日の流動性供給・TB1Y発行超過、22日の20Y発行等が挙げられる。無担保コールO/Nは引き続き0.07%台後半での取引が中心になると見られる。主要なイベントとしては、19日の7-9月期の中国GDP、22日のECB定例理事会が挙げられる。

2. オープン市場

10/13~16の短国市場は、引き続きマイナス圏での推移が続いており、閑散な状態が続いた。短国の入札は、15日に3M物、16日に1Y物の入札が実施された。3M物の入札は、WI取引で▲0.008~▲0.007%とやや強めの出合いが見られたものの、平均落札利回▲0.0055% 最高落札利回▲0.0037%と概ね事前予想通りの結果となった。セカンダリーでは調整売りから一時▲0.002%の出合いも見られたものの、その後は店頭での買いからか、引けにかけて▲0.010%まで買い進まれた。1Y物の入札は、短国買入オペを睨んだ買いからか、平均落札利回▲0.0418% 最高落札利回▲0.0358%と過去最低を更新する堅調な結果となった。

10/13~16のCP市場は、15・20日発行で鉄鋼、石油、商社業態からまとまった発行が見られたものの、週間発行総額は4,700億円程度にとどまった。週を通して特段のイベントがなく、発行残高が伸びない中、依然としてディーラー及び投資家の玉確保の動きが強く、a-1格以上の発行レートは、0.07~0.09%を中心に落ち着いた推移となった。

10/19~23の短国市場は、22日に3M物の入札が予定されており、按分レートの上昇も予想される。短国買入オペは19日と23日に実施されると見込まれ、オフアール金額、落札水準が注目される。CP市場は、19日にCP等買入オペが予定されている。足元金利が上昇する一方で、依然として投資家の買いは強く、落札水準が注目される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で2,900億円程度の発行超見通し。財政等要因は、20日の流動性供給・TB1Y発行超過、22日の20Y発行等があり、2兆4,600億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で2兆7,500億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<19日>TB3M;償還51,000億円・発行48,000億円 <20日>TB1Y;償還15,000億円・発行25,000億円/エネルギー対策借入;期日3,500億円・新規5,000億円/流動性供給;発行5,000億円<22日>20Y;発行12,000億円/交付税借入;期日10,500億円・新規10,500億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
10/19 (月)	100	4,400	4,500	全店共通(固) 国債買入 CP買入	△ 1,000 △ 100	2,000 12,000	12,900	17,400
10/20 (火)	0	△ 18,000	△ 18,000	社債買入		1,250	1,250	△ 16,750
10/21 (水)	0	1,000	1,000				0	1,000
10/22 (木)	△ 1,000	△ 14,000	△ 15,000	CP買入		4,000	4,000	△ 11,000
10/23 (金)	△ 2,000	2,000	0	被災地支援	△ 100		△ 100	△ 100
週間合計	△ 2,900	△ 24,600	△ 27,500		△ 1,200	19,250	18,050	△ 9,450

(注) 上表の10/19は日銀予想、10/20以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
10/19 (月)	日銀支店長会議 さくらレポート(=地域経済報告)		7-9月期の中国GDP
10/20 (火)		20Y 12,000億円 10/22発行	9月の米住宅着工件数
10/21 (水)	9月の貿易統計(財務省 8:50)	交付税借入 10,500億円 10/29借入	
10/22 (木)		TB3M 48,000億円 10/26発行	9月の米中古住宅販売 ECB定例理事会(金融政策発表)
10/23 (金)	8月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	2Y 25,000億円 11/16発行	

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入